

Cavallo

vol.33

清祀

vol.41

* 春季中国四国
大会**15連覇!!**

* 夏季中国四国
大会**13連覇!!**

* 全日本学生馬術
大会に**2人馬**の
出場が決定!!

2023年
広島大学馬術部 清祀会



目次

Cavallo

ご挨拶 …p3

現在の活動報告 …p4

大会成績報告 …p5~p6

馬匹紹介 …p7~p15

部員プロフィール …p16~p19

新入部員紹介 …p20~p21

4年間の軌跡 …p22~p24

企画 …p25~p27

会計報告 …p28~29

清祀

指導者一同より …p30~p36

特集 …p37~p39

会員の皆様からの近況報告 …p40~p42

最後に「清熊号退厩のお知らせ」を掲載しております。
…p43~p44

最も暑い夏

監督 木内啓司

清祀会員の皆さま、如何お過ごしでしょうか。

今年の夏は、日本の平均気温が1898年の統計開始以降で最も暑く、最高気温が35度以上の「猛暑日」の日数は、全国38地点で最多となり、過去151年で猛暑日が一度もなかった北海道函館市で初めて記録されるなど、異例づくめの夏となりました。

馬術部では、例年は岡山県の蒜山高原HPにて夏季中国・四国学生馬術大会が開催されており、幾分の避暑が可能でしたが、今年は全日本学生馬術大会の開催をにらみ、兵庫県三木HLPでの開催となりました。

酷暑での大会開催が人馬に与える影響は大きく、部員の熱中症も大いに心配されましたが、何を隠そう私自身が大きなダメージを受ける始末。わずか2頭の下乗り中に暑さで気が遠くなり落馬寸前となり、帰広後には全身に暑さによる蕁麻疹を発症するなど、仕事に影響が生じるギリギリのところで乗り切ったところでした。『暑いのお〜』と言いながらも炎天下で積極的に下乗りをされ、平気でおられる喜寿を迎えた元気満々な笠置総監督の姿を見て、励まされると同時に自己嫌悪も感じる複雑な心境の夏でした。

大会結果は本誌に記載のとおりですが、順風満帆な結果とは言えず悔しい思いで一杯です。しかしながら、何とか学典部門では13連覇を達成し、清姜号、清香号、茜（4年生）、猪熊（3年生）の2人馬が全日学の権利を獲得しました。

また、今年は選手権予選が別日程となっており、9月20日・21日の2日間、岡山大学にて開催される予定で、本誌がお手元に届くころには結果が出ていると思います。清祀会・広大ホームページに掲載しますので、どうぞご覧になってください。

2027年（令和9年）の創部70周年まで、あと4年となりました。今年の特集記事として、これまでの馬術部の大会記録を掲載しますので、まずは70周年まで総合優勝を継続できるよう、応援のほどよろしくお願い申し上げます！



馬場部内戦にて13連覇を誓って！

現在の活動報告

OB・OGの皆様並びに関係者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。現在広島大学馬術部は4年生5名、3年生6名、2年生5名、1年生7名の部員計23名、指導者の皆様、馬たちと共に「国立大学 No.1」の目標の元、日々活動しています。

長い間、感染症の影響を受けた活動制限が次第に緩和され、私たちはコロナ禍以前の活動を取り戻しつつあります。平素の活動だけでなく、県外の大会、新勧活動も感染症拡大前と同じように行うことができるようになり、活動の幅が広がりました。秋のホースフェスの開催も検討しており、地域の方々と交流できる場を設けられることに部員一同期待に胸を膨らませています。

9頭の馬たちは、指導者の皆様の丁寧な調教により日々成長し、部員も着実に力をつけてきています。TCC ホースのコーナスフロリダ号が広大馬術部に仲間入りしてから、1年半が経ち、前回の春大会では馬場馬術競技で3位に入賞し、大会15連覇に貢献しました。また、8月に三木ホースランドパークで開催された中四国大会では総合優勝13連覇を達成しました。4年茜選手と清姜、3年猪熊選手と清香が全日本の権利を獲得し、また清姜は最優秀馬匹としても表彰されました。応援してくださった皆様、ありがとうございました！日々の活動や大会、馬たちの様子を各 SNS、HP で公開していますので、ぜひぜひご覧ください。

最後になりますが、私たち広島大学馬術部一同、これからも皆様が大切に繋いできてくださった伝統ある広大馬術部を守り、より良い部を後輩たちに引き継いでいけるよう精進して参ります。精一杯頑張りますので、今後とも応援よろしくお願いいたします。

広島大学馬術部 部員一同

2022年春季中国四国地区学生馬術大会 結果

春季 15連覇

○学典競技

総合優勝 広島大学 77pt

2位 広島工業大学 72pt

3位 岡山大学 30pt

最優秀選手 中村昂輝 広島工業

最優秀馬匹 清香 広島

・学典賞典馬場馬術競技

1位 曾我部拓真 カイテキZ 岡山

2位 茜知樹 清将 広島

3位 中村昂輝 鶴雄 広島工業

・学典賞典障害飛越競技

1位 茜知樹 清姜 広島

2位 中村昂輝 鶴雄 広島工業

3位 則武諒彦 カジノプレイヤー 鳥取

・馬場馬術競技 第2課目C

1位 猪熊太陽 清香 広島

2位 佐古帆乃香 鶴翼 広島工業

3位 田川千晶 鶴範 広島工業

・馬場馬術競技 第2課目B

1位 今村太陽 鶴翼 広島工業

2位 寺田真彩 鶴鳴 広島工業

3位 井上遼 コーナスフロリダ 広島

・小障害飛越競技A

1位 井上巧都 カジノプレイヤー 鳥取

2位 廣瀬雅恵 清香 広島

3位 宮崎詩織 清盛 広島

・小障害飛越競技B

1位 白井心大 清盛 広島

2位 猪熊太陽 清香 広島

3位 竹田仁美 清姜 広島

・小障害飛越競技C

1位 荒川竜芳 清香 広島

2位 田川千晶 鶴雄 広島工業

3位 小寺溪 フセノピュア 島根

・小障害飛越競技D

1位 田川千晶 鶴範 広島工業

2位 大村昇平 清将 広島

3位 竹田仁美 清香 広島

・クロス障害飛越競技

1位 荒川竜芳 清天 広島

2位 今村太陽 鶴鳴 広島工業

3位 戸田憲秀 ミニヨンヌヴェリテ 島根

2023年夏季中国四国地区学生馬術大会 結果

夏季 13連覇

○学典競技

総合優勝 広島大学 48pt
 2位 広島工業大学 23pt
 3位 岡山理科大学 14pt

最優秀選手 茜知樹 広島
最優秀馬匹 清姜 広島

○一般競技

総合優勝 鳥取大学 63pt
2位 広島大学 33.6pt
 3位 岡山理科大学 13pt

最優秀選手 藤原 さくら 鳥取
最優秀馬匹 ハリウッドレイン 鳥取

・学典賞典馬場馬術競技

1位 曾我部拓真 カイテキZ 岡山
2位 茜知樹 清姜 広島
 3位 中村昂輝 鶴雄 広島工業
4位 廣瀬雅恵 清凧 広島
5位 清水香月 清熊 広島

・学典賞典総合馬術競技

1位 茜知樹 清姜 広島
 2位 須田隆也 旭晃 岡山理科
3位 猪熊太陽 清香 広島
失権 猪熊太陽 清凧 広島
失権 宮崎詩織 清盛 広島

・学典賞典障害飛越競技

1位 茜知樹 清姜 広島
 2位 中村昂輝 鶴雄 広島工業
 3位 和食文子 リグヴェエダ 鳥取

・中国四国レースホースカップ100

1位 竹田仁実 清姜 広島
 2位 和食文子 カジノプレイヤー 鳥取
 3位 曾我部拓真 旭聖 岡山
4位 白井心大 清盛 広島

・中国四国レースホースカップ90

1位 井上遼 清将 広島
 2位 岩本朋恵 マグリット 鳥取
 3位 吾郷輝生 ハリウッドレイン 鳥取
9位 井上遼 清盛 広島
13位 廣瀬雅恵 清凧 広島

・馬場馬術競技 第2課目C

1位 渡邊俊介 チャンピオンルパン 岡山理科
 2位 福田捷真 旭晃 岡山
3位 井上遼 清盛 広島
4位 内田那々子 清天 広島
10位 藤田華 清凧 広島
13位 大村昇平 清熊 広島
14位 清水香月 清脉 広島
16位 大村昇平 清脉 広島

・馬場馬術競技 第2課目B

1位 衣川愛 鶴翼 岡山理科今治
 2位 仲村優咲 鶴範 岡山理科今治
 3位 若井圭吾 アリスト 愛媛
5位 辰野史奈 清凧 広島
5位 藤田華 清天 広島
14位 下村優斗 コーナスフロリダ 広島

・馬場馬術競技 第1課目

1位 大場さくら ジュピテール 岡山理科
 2位 藤森生記 旭蹄 岡山
3位 石原ほの夏 清熊 広島

・小障害飛越競技C

1位 大島光 鶴奏 岡山理科今治
 2位 荒川哲太 ハリウッドレイン 鳥取
 3位 渡邊俊介 チャンピオンルパン 岡山理科
5位 藤田華 清凧 広島

・小障害飛越競技D

1位 藤原さくら ラグランドセーヌ 鳥取
 2位 渡辺のどか ヴォイスメール 鳥取
 3位 佐々木もも ヴォイスメール 鳥取
5位 内田那々子 清天 広島
7位 大村昇平 清脉 広島
10位 下村優斗 清姜 広島

・クロス競技

1位 真鍋龍昇 鶴範 広島工業
 2位 藤田華 清天 広島
 3位 平田大輝 チャンピオンルパン 岡山
12位 下村優斗 コーナスフロリダ 広島

・スラローム競技

1位 市田早絵 鶴風 岡山理科今治
 2位 綿貫徹哉 鶴瑞 広島工業
 3位 岡野亮太郎 鶴瑞 広島工業
16位 石原ほの夏 清熊 広島
17位 林沛哲 清熊 広島

清風

きよ

なぎ



愛称:きな子

毛色:栗毛

年齢:11歳

担当部員:廣瀬、藤田

担当コーチ:岩本コーチ

広大馬術部のアイドル!! 食欲旺盛な女の子。小さいけどパワフルで、一年生から上級生まで乗せてくれるスーパーホース!

今年は学典馬場に挑戦したよ! どんどん成長しています☆

わたしの成長
見ててね!



✿ 清香 ✿

愛称：フレーバー、フレちゃん

毛色：栗毛

年齢：9歳

担当：廣瀬、猪熊

担当コーチ：岩本コーチ

天然系おてんば娘。

でも暑い日も寒い日も過酷な練習を
難なく乗り越えちゃう強さもある。
新入生にもとっても優しくしてくれ
てありがとう♪

フレちゃん下唇
緩みがちだよね

緩んでないもん!!

清姜

せいきょう

愛称: キナイ
担当指導者: 笠置総監督
担当部員: 茜、竹田、下村
年齢: 15才

サービス精神も旺盛です ^^

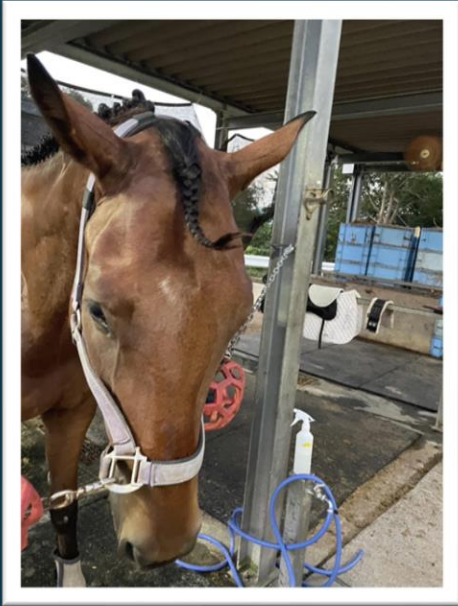


今年で13連覇を果たした夏大会で、乗馬した茜選手とともに最優秀選手・馬匹に選ばれたスーパーホース！
全日にも出場予定です♪

落ち着きのある横顔がいい！

清天

せいてん



おしゃれなテンテン♪

愛称：テンテン、テン
担当指導者：岩本コーチ
担当部員：内田、藤田
年齢：4才

広大馬術部新参者のテン
テン。大きな顔がチャー
ムポイントです♪
今年の夏大会がまだ二回
目の大会出場なのでこれ
から活躍が楽しみ！



草をいっぱい食べて成長中！

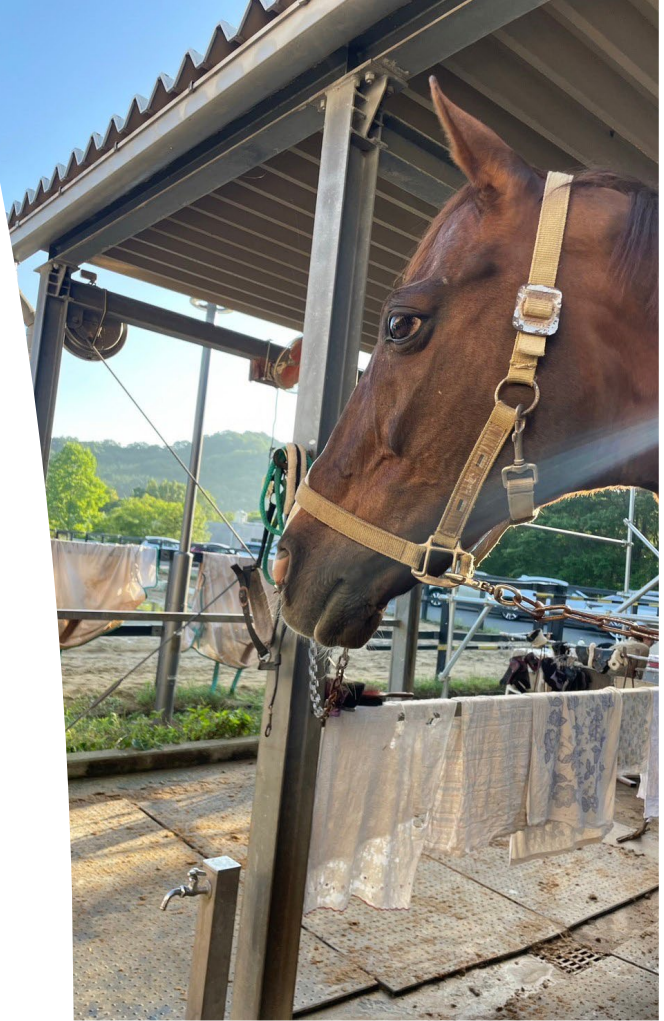
編み込みがかわいい～



清将

- 性別：騊
- 年齢：21歳
- 出身：アメリカ合衆国
- 愛称：ボストン
- 毛色：栗毛
- 担当指導者：笠置
総監督
- 担当部員：茜
竹田、井上、白井

• 広大の馬の中では
すっかりおじい
ちゃんになってし
まったが、まだまだ
活躍し続けるその姿
はみんなを元気にさ
せる。しかし、普段
の彼はよくゴロゴ
ロするただの怠け
たオッサンである。



ムー／清詠

生年月日 2016/05/03

あだ名 ムー

ムーちゃん

性別 牝

毛色 鹿毛

担当指導者 松葉コーチ

担当部員 大村、鎌谷



おとなしいけど我が強い7歳！

つぶらな瞳とたてがみがチャームポイント！？

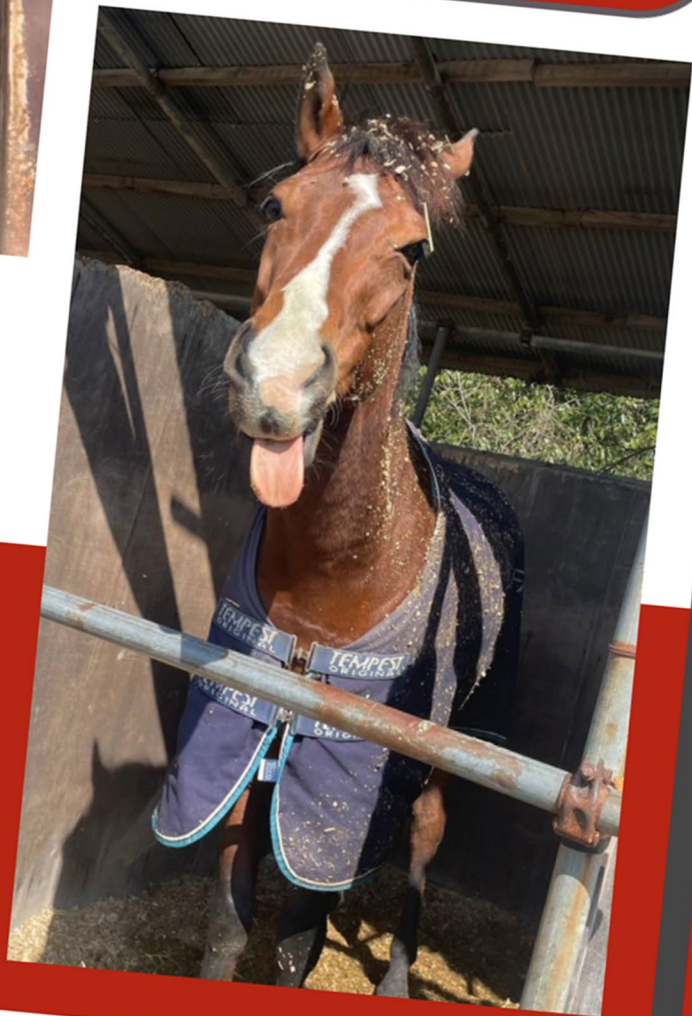
手入れのときは暴れないけど、乗りこなすのは難しいぞ！

まずある程度上達してから乗り始めよう！

コーナスフロリダ



伊勢キングダムから来た
TCCホース
かわいい顔と元気な走り
により部員を魅了してい
る。ご飯の時間になると
興奮して落ち着きがなくな
ってしまう



愛称 ナス コーナス

性別 騙馬

毛色 鹿毛

年齢 8歳

生年月日 2015/04/02

担当指導者 菊池コーチ

担当部員 猪熊 下村

清盛

運動の時に
食べる
ニンジンが
一番美味しい

生年月日：2007/3/6

性別：セン馬

愛称：ガブ

担当指導者：木内監督

担当部員：宮崎,白井,井上

まだまだ元気な16歳のベテランホース！力強い走りと威圧感たっぷりの立ち居振舞いは、多くの部員たちの心と身体を釘付けに。三度目の全日本を虎視眈々と狙っています！



清熊

(きよくま)

性別: 騾

年齢: 22歳

愛称: ステラ

担当指導者: 岡田 コー千

担当部員: 清水 白井

みんなの大好きおじいちゃん！こんなに
色々な表情を見せてくれます。

愛らしい表情に心を奪われること間違い
なし♡あなたも気づけばステラ推し！

僕、がんばる！



部員プロフィール

～4年生～

* 担当馬は、夏大会以前のものです。

名前	茜知樹		学年	4 年	学部	経済
出身地	島根県	担当馬	清姜、清将		役職	無し
好きな食べ物	タコ、ホタテ					
馬マイブーム	馬の脚を冷やすこと					

名前	内田那々子		学年	4 年	学部	生物生産
出身地	京都府	担当馬	清天		役職	無し
好きな食べ物	カントリーマアムバニラ					
馬マイブーム	フレちゃんの口が緩んでないかチェックすること					

名前	清水香月		学年	4年	学部	工
出身地	鳥取県	担当馬	清熊		役職	無し
好きな食べ物	ぶどう					
馬マイブーム	インスタで馬の動画を見ること					

名前	廣瀬雅恵		学年	4年	学部	生物生産
出身地	岐阜県	担当馬	清風、清香		役職	無し
好きな食べ物	アボカド					
馬マイブーム	きなこの痒いところを探すこと					

名前	宮崎詩織		学年	4年	学部	総合科学
出身地	兵庫県	担当馬	清盛		役職	会計
好きな食べ物	豆腐料理					
馬マイブーム	ガブの鼻をぷにぷにすること					

～3年生～

名前	猪熊太陽		学年	3年	学部	理
出身地	広島県	担当馬	コーナスフロリダ、清香		役職	中四国
好きな食べ物	お好み焼き					
馬マイブーム	秘密					

名前	大村昇平		学年	3年	学部	工
出身地	兵庫県	担当馬	清詠		役職	馬具
好きな食べ物	カレー					
馬マイブーム	馬術の漫画を読むこと					

名前	鎌谷陽菜子		学年	3 年	学部	生物生産
出身地	鹿児島県	担当馬	清詠		役職	無し
好きな食べ物	塩おにぎり					
馬マイブーム	馬の絵を描くこと					

名前	北菌凜気		学年	3年	学部	生物生産
出身地	奈良県	担当馬	清盛		役職	オガボロ
好きな食べ物	カレーライス					
馬マイブーム	ガブから小突かれるのをガードすること					

名前	白井心大		学年	3年	学部	生物生産
出身地	岡山県	担当馬	清盛、清将、清熊		役職	飼料
好きな食べ物	エビチリ					
馬マイブーム	顔拭きで下唇をプルプルさせること					

名前	竹田仁美		学年	3年	学部	総合科学
出身地	愛媛県	担当馬	清将、清姜		役職	主将
好きな食べ物	プリン					
馬マイブーム	かわいい写真を撮ること					

～2年生～

名前	井上 遼		学年	2年	学部	工
出身地	広島県	担当馬	清盛、清将		役職	装蹄、薬品
好きな食べ物	ピザ					
馬マイブーム	ガブにポカリ飲みますこと					

名前	下村優斗		学年	2年	学部	工
出身地	兵庫県	担当馬	コーナスフロリダ、清姜		役職	馬具
好きな食べ物	冷奴					
馬マイブーム	コーナスの写真を撮ること					

名前	藤田華		学年	2年	学部	総合科学
出身地	広島県	担当馬	清天、清風		役職	副主将
好きな食べ物	オムライス					
馬マイブーム	テンテンにちょっかい出すこと					

名前	山崎太陽		学年	2年	学部	教育
出身地	長野県	担当馬			役職	無し
好きな食べ物	プリン					
馬マイブーム	馬動画を見ること					

～1年生～

名前	黒木 智		学年	1年	学部	工
出身地	京都府	担当馬			役職	無し
好きな食べ物	寿司					
馬マイブーム	強い競馬のレースを見る					

名前	石原ほの夏		学年	1年	学部	生物生産
出身地	大阪府	担当馬	清熊		役職	中四国
好きな食べ物	魚					
馬マイブーム	ステラを甘やかすこと					

名前	高田由芽		学年	1年	学部	教育
出身地	香川県	担当馬	清風		役職	飼料
好きな食べ物	カキフライ					
馬マイブーム	きなこの鼻をちょんちょんすること					

名前	本橋諒		学年	1年	学部	理
出身地	兵庫県	担当馬	清盛		役職	広報
好きな食べ物	ステーキ					
馬マイブーム	コーナスの駈歩の動きを見ること					

名前	山根文香		学年	1年	学部	文
出身地	広島県	担当馬	清詠		役職	会計補佐
好きな食べ物	蕎麦、唐揚げ、クリームシチュー					
馬マイブーム	ムーが飼い桶ひっくり返すのを見守ること					

名前	林沛哲		学年	1年	学部	生物生産
出身地	愛知県	担当馬	清熊		役職	体育会
好きな食べ物	アイス					
馬マイブーム	ステラが食べるのを見る					

名前	廣瀬大智		学年	1年	学部	法
出身地	東京都	担当馬	清熊		役職	無し
好きな食べ物	お肉、お魚、お寿司					
馬マイブーム	馬にスイカの皮をあげること					

～新入生の言葉～

石原 ほの夏（生物生産学部 生物生産学科 1年）

生物生産学部一年の石原ほの夏です。私が馬術部に興味を持ったきっかけは、4月のホースショーでの先輩方の騎乗を見たことです。いつしか、私もあんな風に乗ってみたいと思うようになりました。入部してから、しんどいと思うことは何度もありましたが、それ以上に貴重な経験をさせていただいてること、そして周りに支えられていることを実感する毎日です。4年間細く長く続けていきたいです。よろしくお願いいたします。

北蘭 凜気（生物生産学部 水圏統合科学プログラム 3年）

今年入部しました北蘭凜気です。私は新入部員でありながら三年生というすこし変わっています。しかも三年生なのですが、広島大学には三年次編入で入学したためほかの三年生とも違います。いろいろな人と変わっている私がこの馬術部選んだ理由、それは部活で生物とこんな近くでかかわることができる部活は馬術部以外にはないと感じたためです。ほかにも早起きの習慣ができそうとか、根性がつきそうとか理由はありますが、これが一番大きいです。もともと興味があったらなんでもやってみるということを中学からやってきて一番大変に感じているのは今ですが、せっかくの大学生活、部活も遊びも学問も趣味も生活も誰よりも楽しんでいるという自信が持てるよう短い期間ですががんばりたいと思います。

山根 文香（文学部 人文学科 1年）

私が馬術部に入った理由は幼い頃の体験です。8、9歳の時、広島大学の馬術体験に参加しました。当時の私は乗馬自体は楽しみましたが、人参を馬にやるときに怯えすぎて何度も取り落としてしまいました。当時から私の大型動物に怯えてしまう癖はあったのだと思います。今だって馬に怯えてしまう場面もいくつかあります。それでも馬術部に入ったのは漠然とした憧れでした。今年馬術部に入部して、自分の至らない部分も不適合に思える部分もたくさんありましたが、適性がないなと思ってもやめない理由は、馬と接したいことと、憧れが未だ絶えていないからです。もう詳しく思い出せない記憶ですが、この憧れをずっと抱えて頑張りたいな、と思います。

黒木 智（工学部 第一類 1年）

九月から入部した黒木です。自分が住んでいるところにはあまり野生の動物が居なかったのも、今まではあまり動物と関わる事がなかったのですが、折角自然豊かなところに位置する広島大学に入学したので普段生活していたら出来ないようなことをしたいと考えてこの部活を選びました。まだまだ下手くそですが頑張っていきたいです。

高田 由芽（教育学部 第四類造形芸術系コース 1年）

入学したばかりの頃参加した馬術部の乗馬体験で、馬術部の活動に興味を持ちました。今まで、自分の興味の範囲を広げることができないのが悩みでしたが、馬術部に入って変わることができたように思います。それぞれ個性を持つ馬たちと、お世話をしたり気遣ったりしながら、深く関わっていく毎日が本当に楽しいです。優しく指導してくださるコーチや先輩たちには感謝の気持ちでいっぱいです。練習にうまくついていけない時も、相談に付き合ってくれる人達がいてくれて、気持ちを強く持つことができます。これからも、皆さんと、馬たちと関わっていける一日一日を大切に過ごしていきたいです。

本橋 諒（理学部 生物科学科 1年）

食べ物、飲み物、調味料のこだわり強め、好き嫌いも多く、出来るだけ無理はせずどれだけ嫌なことをしないでいいか、楽できるかを考えて生きてきた。しかし、大学入学した頃あたりから少し考え方が変わった。挑戦をしてみよう。そして、どんなことも楽しもうと思ったのだ。そのため、現在では辛いことやしんどいことも乗り越えることで強くなれると考えることで楽しめるようになり、プレッシャーや緊張感も楽しめるようになった気がする。ただ、頑張りすぎるのも良くない。常に心に余裕を持っていたい。気を抜きすぎず色々挑戦してどんなことも楽しみながら頑張ろうと思うのでよろしくお願いします。

林 沛哲（生物生産学部 生物生産学科 1年）

愛知県名古屋出身の林です。僕の実家の近くに中京競馬場があったことから、小さい頃から馬に興味を抱き、大学入学と同時に馬術部がある事を知りこの部活に入部する事を決めました。まだ右も左も分からない状態ですが、精一杯頑張っていきますので、よろしくお願いします。

廣瀬 大智（法学部 法学科昼間コース 1年）

広島大学一年の廣瀬大智です。自分は中学でも高校でも馬術はおろか馬ともろくにかかわったことがありませんでした。ではなぜ馬術部に入ったのかというと、大学にしかないような活動に入りたいと思ったからです。ですが実際に入部してみるとただ馬に乗るということでは全くなく、馬の世話から餌づくり、馬場の障害物の設置など様々な役割をこなさなければならず非常にやりがいがありました。これからは先輩たちと同じようにテキパキとした行動ができるよう精進したいと思っています。よろしくお願いします。

～ 4 年間の軌跡～



『広島大学馬術部だったから』

茜 知樹

私が1年生の部誌の挨拶で「4年間必ずやり遂げる！」と書いたことを懐かしく感じます。まずはその目標を達成できてよかったです。

4年間を振り返って、この広島大学馬術部でたくさんの経験をすることができました。その中で最も印象的だったのは馬術という競技の魅力に気づけたことです。

それを出来事として実感したのは昨年の選手権大会で北海道に行ったことです。そこでは平成29年度卒部の宮川先輩に大変お世話になりました。先輩とは現役時代の担当馬と自分の担当馬（清将）が同じだったこともあり、いろいろなお話も聞くことができました。宮川先輩にお世話になるまでは、普段から指導してくださる指導者さんや先輩に支えられて活動できていると思うことが多かったです。しかし、寄付や差し入れ、掲示板などで応援メッセージを送ってくださる方のおかげで自分たちが活動できていること、OBOGの皆さんがたくさん応援してくださっていることを宮川先輩にお世話になって改めて気がつくことができました。

馬一頭をとってもそれぞれ癖や長所が違い、それまでどのような人が世話をしてきたのかを感じ、色々な馬と関わる中でたくさんの経験を経て技術を高めることができました。そして指導者の皆さんからもそれぞれ大切にしていることを私たち学生に伝えていただきました。私が直接顔を合わせたことがない先輩や馬匹たちが今の私たち広島大学馬術部のバトンを渡してくれたこと、自分もその一員になれたことを誇りに感じます。これまで馬術部が積み上げてきた技術や伝統を、馬と人が繋いでくれる、そんな馬術の素晴らしさに気づくことができたのがこの4年間の宝です。

この文章は夏大会の直前に書いています。今年は学典三種目を担当馬の清姜と共に出場します。最後の大会、3冠を目標に頑張ります！

私にとって、馬術部は人生初めての運動部でした。入部する前はこんなにも大変だとは想像しておらず、暑い日も寒い日も関係なくある練習に心が折れそうになったことが今では懐かしく感じます。もう少し寝ていたい、もう少し動きたくない…そんな日々の小さな山を越え続けてきたからこそ、普通の生活では得られない精神力や体力がついたと思います。馬術部の生活リズムに慣れたころには、自分の騎乗技術に悩むことが増えました。私は大会ではなかなか結果を出せずに情けなく思うことが多くありました。また、練習でできても本番でできないなど、練習で得た力を最大限本番で発揮する力が今でも自分に足りないと感じます。これは馬術だけでなく、これからの私の人生にとって大切な力だと思います。4年間一生懸命頑張ったからこそ、自分の力になったものだけではなく、これからの自分にとっての課題も得ることができたと思います。馬術に関するだけでなく、そのような今後生きていく上で大切なことについても沢山学ぶことができ、馬術部生活はとても学びの多い貴重な経験となりました。

練習の一鞍一鞍を頑張ること、日々の馬たちの管理、全てを完璧にとは言えませんが、ここまで一生懸命頑張ってくることができたのは、指導してくださった岩本コーチの存在がとても大きいです。騎乗面だけでなく、馬に関する知識、馬との接し方など基礎的なことから馬術の楽しさまで様々なことを教えていただきました。本当にありがとうございました。また、日々の練習で本当に馬たちにお世話になり、成長させてもらったと感じています。特に3年生から担当を任せていただいた清風と清香の2頭にはとても感謝しています。私が乗っても健気に動いてくれるきな子、ハミをなかなかとれずに迷惑をかけたフレちゃんに本当にありがとうございました。最後になりましたが、馬術部生活で出会うことができた指導者の皆様、一緒に頑張った同期、いつも支えてくれた後輩たち、そしていつも応援してくださったOG・OBの皆様には感謝しかありません。あと少しの馬術部生活を悔いのないものにするとともに、この経験を生かしこれからの人生も夢に向かって一生懸命歩んでいきたいと思っています。

内田 那々子

4年間、とはいっても、私自身が実際に馬術部員として活動・練習できた期間は、これまでの先輩方よりも短かったです。

まず、私たちは入学直前から新型コロナウイルス感染症が蔓延した、所謂「コロナ前」の大学生活をちょうど知らない代です。騎乗練習が再開した夏前に見学に行かせてもらい、私が入部したのは夏休みからでした。入部後も、部員は騎乗できず馬の管理をするだけの期間もありました。しかし、地元を離れて知り合いもなく、オンライン授業ばかりで学部友達もほぼいなかった私にとって、毎日行く、誰かに会える、話せる、一緒に協力してなにかをする、場所があったことは、今から思うと救いであつたように思います。おかげで病まずにすみました。

また、私は卒業に必須であったため、3年の8月から12月までタイに留学しました。その節は同じ馬の担当者や役職を引き継いでくれた後輩をはじめ、いろんな方にご迷惑をおかけしました。留学中に、やっぱり部活に行きたい、馬に乗りたい、という気持ちが湧いてきて、馬術部がいつの間にか自分の中で大きな存在になっていたことに気付きました。帰国後練習に復帰した際に、「おかえり」とまた受け入れてもらえたことが、とてもありがたく、嬉しかったです。

馬術部にいて、嬉しいことや楽しいこともあれば、当然大変だったり辛いこともありました。それらを語るようなつまらないことはしませんが、全てが何らかの形で私を成長させてくれたことは確かです。なので、後輩たちには心身ともに健康であることは前提の上で、少しの無理ならしてほしい、と思います。

最後になりましたが、先輩方、同期、後輩、指導者方、OB・OGの皆様、広島大学馬術部に関わる全ての方々には本当に感謝しております。ありがとうございました。また、携わらせていただいた清天号、清香号、清風号をはじめ、たくさんの方々に教えてくれた広大な馬たちにも、感謝の気持ちでいっぱいです。馬術部での経験をこれからの人生で意味あるものにしていきたいと思っています。

4年間の軌跡を書くにあたり、一年生の頃に部誌に書いた文章を読み返してみました。その頃は、馬に乗って、障害を飛んでみたくて入ったことを思い出しました。「馬に乗る」ということが新鮮で毎日乗れるなんて楽しそう！と思って入部を決めました。馬術部での活動は、乗るだけではなく、馬のお世話、日々の作業などやるべきことが沢山ありました。また、活動を通して、自分の接し方ひとつで馬を良くも悪くもできることを知ったり、大会に出場したり、観戦することで競技ごとの魅力も感じ、馬術の奥深さを知っていきました。もちろん大変なことも多くありましたが、私は部活をやめようかなと悩んだことはありませんでした。出来ないことがあって落ち込んでも、練習を繰り返して出来るようになった時の達成感や、「これができたら、次はこれ」というように新たなゴールを設定して練習していくことが楽しかったからだと思います。この4年間は、こんな風に小さなゴールをクリアしていくことの繰り返しで、あっという間に過ぎていったように感じます。

岡田コーチ、松葉コーチをはじめ今まで私に熱心に指導して下さった指導者の皆様、先輩方、4年間共に頑張ってきた同期、支えてくれた後輩たち、たくさんの応援をいただいたOB、OGの方々に深く感謝申し上げます。そして、全然上手く乗れない私をいつも乗せてくれた馬たちには本当に感謝しています。特に、清熊号は2年生の頃から担当させてもらっていて、一番長い間お世話になりました。最後の夏季中四国大会で学生賞典馬場という高いクラスに挑戦させてくれることは感謝しても仕切れません。

引退まであと少しですが、最後まで頑張りますので応援よろしく願いいたします。4年間、本当にありがとうございました。

『夜明け』

宮崎詩織

大学生活の大半を馬術部で過ごす、自身の内で様々なことが変わって行きました。例えば、夜型だった私が早起きに慣れたことは大きな変化でした。湿気うだる夏や寒さ厳しい冬の早朝でも、ほとんど遅刻をせずに厩舎で日の出を迎えられたことは私のささやかな自慢です。聞くことの方が好きだった大学一年生は、今や同期一の話し好きとなって引退を迎えようとしています。苦楽を共にする部員との会話はいつも腹から笑わせ、心の奥底をさらけ出しあうものばかりでした。決して易しくはない生活を一緒に耐え抜き、同じ景色を見ることが出来る。大学生として最も大切なことのうちのひとつを、私は手に入れることができたのだと確信しています。

一年生の時から私を乗せてくれた清盛号には、感謝してもしきれないほどの恩があります。秋の早朝、初めて馬に乗る経験をくれた感動は今でも忘れられません。入部以降、どんなに辛くても厩舎にはガブがいると思えるからこそ、田口から延びるががら坂を自転車で登り切ることができました。素直な性格で表情豊か、いつ見ても新鮮な可愛らしさを見せてくれる大切な存在です。“世界で最も愛おしい”と思える相手に出会えたことは、今後の人生を間違いなく色鮮やかなものに変えてくれました。

大きな背中では越えられることはないと思っていた先輩は心の拠りどころであり、たくましく成長する姿が自慢の後輩は、毎日の元気の源です。今までご指導くださったコーチの皆様、特に牛歩の私を最後まで見放さなかった木内監督には感謝以上の念を抱いております。千里まで歩き続けることができたとすれば、傍らにいつも私を信じ続けてくれた師の姿があったからです。失敗も成長も丸ごと支えてくださった馬術部の皆様に、改めてお礼を申し上げます。

三年生の春、『星の王子様』を読み返しました。小さい頃は難しくわからない事の方が多かった本には、今、自分へと語り掛ける言葉があります。

「きみのバラをかけがえのないものにしたのは、きみが、バラのために費やした時間だったんだ」

私は、この部で学生生活最後の青春時代を過ごすことができたことを、心の底から誇らしく思います。

担当馬BEST PICTURE

馬術部上級生の皆さんに担当馬のベストショットを募集してみました！



清将 ボストン

窓から
ひょっこり

清姜 キナイ

横顔萌え(?)



清詠 ムー

お花のかんむり



コーナス・フロリダ

ちょっと
眠たい...



清盛 ガブ

一番
カッコイイ角度



清香 セーカ

お顔の筋肉
が美しい...

清天 テンテン



お口いっっぱい
放牧最高♪

清熊 ステラ



寝顔が天使過ぎる…！
(下唇かわいい)

清風 きなこ



青空の下のきなこ
芸術点高すぎ!!

ご協力ありがとうございました！！



変顔選手権 BEST3



こっちは変顔ベストショット!!
誰の変顔が最も秀逸か投票してもらい、BEST3を決めました!



1st

清姜 キナイ

激おこ(笑)

2nd **清熊**
ステラ



アヒル口…?

宙を舞う花飾り

3rd **清風**
きなこ



OB・OG・関係者の皆様

現在会計を務めます、4年の宮崎と申します。
皆様の日頃のご支援に厚く感謝申し上げます。

令和4年度の会計報告と共に、簡単に現在の部の経済状況を説明させていただきます。

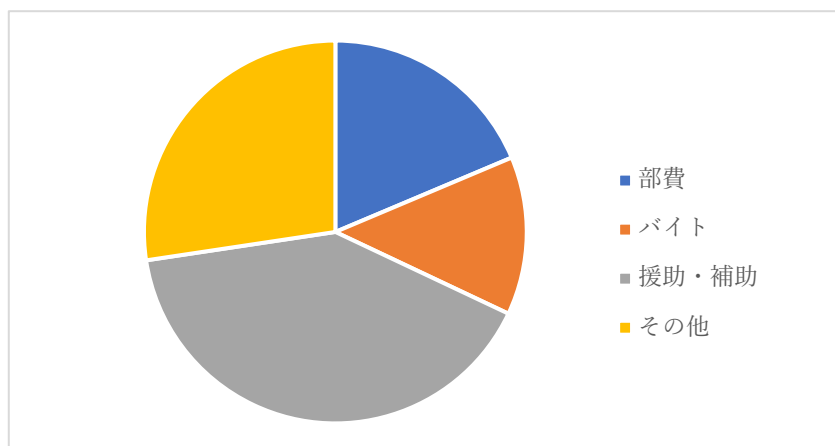
収入の部では、新型コロナウイルスの流行による部員負担を考慮し、令和2年度から部費の減額措置を継続しております。選挙管理委員会として部バイトに参加した部員は臨時部費を一部軽減するなど、指導者と部員間での話し合いのもと納得のいく形で集金作業ができるよう努めています。

支出の部では、ウクライナ情勢に伴う世界的な物価高騰の影響が輸入の面にも及び、飼料代の値上がりが依然財政を圧迫しています。また、予防接種代や装蹄費用など、維持費に関わる項目も物価高の波を受け、支出総額が収入総額を上回る状況となっています。

社会の様々な要因を受け、会計は依然厳しい状況下にあります。OB・OG・関係者の皆様・一般の皆様のご支援のもと、日々の活動を続けることが叶っております。今後も皆様のご期待に応えられるよう、精進を重ねて参りたいと思います。何卒これからもよろしくお願いいたします。

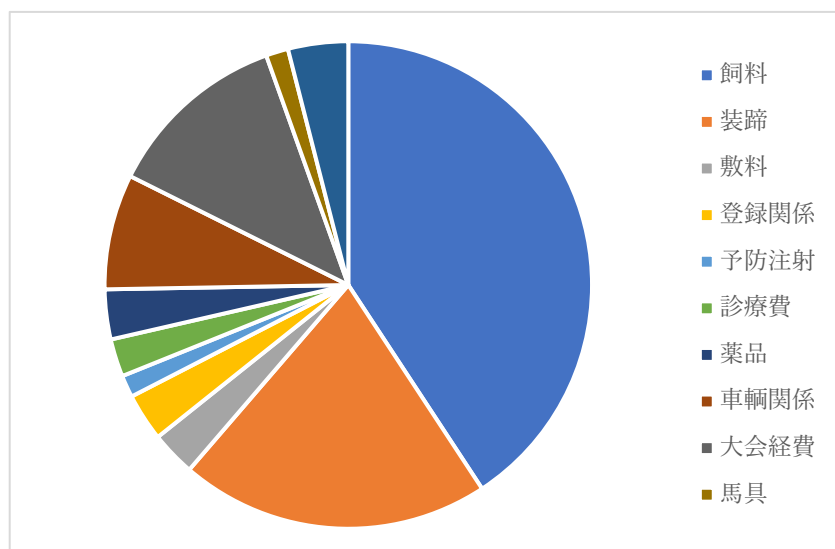
文責 令和4年度会計 宮崎 詩織

収入



部費	¥1,115,500
バイト	¥800,000
援助・補助	¥2,429,039
その他	¥1,637,296
収入合計	¥5,981,835

支出



飼料	¥2,441,692
装蹄	¥1,232,220
敷料	¥177,800
登録関係	¥189,200
予防注射	¥87,850
診療費	¥150,090
薬品	¥198,156
車輻関係	¥458,549
大会経費	¥728,933
馬具	¥88,570
その他	¥238,887
支出合計	¥5,991,947

収入－支出 **¥-10,112**

【清祀】

部誌によせて

部長 小櫃 剛人

新型コロナ感染症への対応が緩和され、キャンパスも賑わいがもどりつつあります。ここ数年の期間、キャンパスでの暮らしかた、課外活動、学業活動など、いずれも大きな変化を乗り越えてきました。それまで当然と考えられていた日常のいくつかは、根本からその必要性をみなおす機会でもあったと思います。また、他者への思いやりや、暮らしの中での気遣いなど、細かなことまで思いを巡らす機会でもあったと思います。そうした期間に馬術部で過ごした日々は、いずれ思い出となると思いますが、これからも長い間、心に刻まれることと思います。

話は大きく変わりますが、今年からカープ球団は新井監督となり、健闘しています。ローカルな話題ですが、中国新聞のスポーツ欄に新井語録という記事があり、新井監督のインタビューが掲載されています。「ナイスバッティング」、「ナイスピッチング」、という言葉で選手の活躍を称賛されています。私は野球のことはわかりません。ありふれた言葉なのかもしれませんが、監督が語るこれらの短い言葉は、ひとことで表せない多くの意味を含むものと感じます。また、失敗に対しても非難の言葉は一度も述べられたことがありません。この語録を読むと、勇気をもらった気持ちになるのは、私だけではないと思います。仲間を尊敬し、信頼し、信念をもってすすんでいく姿に感動を覚えます。コロナで少し希薄になりがちになった仲間との関係も、こうした姿勢で回復できればと思ったりします。

夏季中国四国学生馬術大会 2023 を終えて（皆様に感謝）

清祀会会長 総監督 笠置 洋二

まさに酷暑という表現がピッタリするような天気が続いている中、皆様におかれましてはお変わらないことと思います。

その酷暑の中、2023年夏季中国四国学生馬術大会が兵庫県の三木ホースランドパークで開催されました。

我が部の成績は、総合優勝（13連覇）、最優秀選手（茜 知樹、4年生）、最優秀馬匹（清姜号）を獲得することができました。また、以下の2人馬が全日本学生馬術大会に駒を進めることになりました。

茜 智樹 4年生 清姜 学生賞典障害飛越競技
学生賞典総合馬術競技

猪熊太陽 3年生 清香 学生賞典総合馬術競技

このような結果が残せたのも、日頃から広島大学体育会馬術部をご支援いただいている皆様方のお力があってのことと感謝いたします。清祀会会員の皆様、馬の体調や肢のケアにお気遣いいただいている皆様、部の運営に協力してくださっている皆様、練習や競技会

場で学生に声をかけて励ましてくれた皆様そして大学当局の皆様、本当にたくさんの方々のお力添えがあって、馬術部が存在できているんだなあと痛感いたしております。学生共々お礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、13連覇を果たしたものの浮上してきた課題があります。

それは人馬の層が薄いということです。人の場合は1～2年という短期間が勝負ですが、馬の場合は数年という期間が必要です。現状を見ますと一線級の馬とそのあとに続くべき馬との差が大きく、私の眼には次代に学生賞典競技に挑戦できそうな馬は見当たりません。そろそろこの課題を解決すべく行動を開始しないといけない時期になったと思っています。

“千里馬常有、伯樂常不有”、馬を育てるも壊すも人しだい。馬術に取り組む姿勢、考え方、技術をさらに磨く必要があります。

とは言え、当面は全日本学生馬術大会、全日本学生馬術選手権大会で活躍できるように、さらに練習に注力することです。

また、ここにきて学生の作業量が極端に増え、練習面や部員の確保面に影響がでてきています。設備面からこの辺の解決も急務です。

今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

今回競技場で、ある役員の方から「広大の学生は、競技成績だけではなく、態度もナンバーワンだね」と言われました。嬉しかったですねえ。

夏大会で感じたこと、皆さんに知ってもらいたいこと、雑感

清祀会副会長 田邊 豊晴

先ずは、中国四国夏季学生馬術大会の13連覇おめでとうございます。

笠置総監督、木内監督以下、指導陣の皆様には厚くお礼申し上げます

特に笠置総監督におかれましては、昨年までの比較的涼しい蒜山高原と違い、酷暑の三木において競技前の気迫のこもった準備騎乗をしていただきました。まるで鬼が馬に乗っているように見えました。13連覇も笠置総監督のお力があったこそ、本当にありがとうございました。

・夏大会で感じたこと

今大会は8月19日（土）と20日（日）しか観戦できなかったのですが、来年の優勝は厳しくなっていると感じました。

理由は鳥取大学の急成長です。昨年、鳥取大学の馬場馬術を見た時、どの馬も口向きができておらず馬場馬術と呼ぶには程遠いように見えました。しかし今年は各段に人馬ともに成長しておりました。学生賞典馬場には出場していませんでしたが、第3課目の演技をみていると、来年は鳥取大学が学生賞典馬場に出場し広大を凌駕するのではないかと思います。

私は、馬を作ることは出来ませんが、指導者の皆様や学生諸君がより活動し易い環境を整えることに尽力したいと思います。

・皆さんに知ってもらいたいこと

今年5月、広島プリンスホテルをメイン会場にG7サミットが開催されました。私たち広島に関係している者にとっては広島が注目されることは誇らしいかぎりです。

そこで、現役学生には伝えたのですが、広島プリンスホテルを元宇品に誘致したのは、笠置総監督（当時30代？）であることを改めて認識し、笠置総監督のご尽力があって広島サミットが開催できたことを誇りに思いましょう。

・その他、雑感

私は、現在、外国人材の就労・生活を支援する仕事をしています。その中で日本の経済力・魅力が低下していることを強く感じます。

私の仕事はフィリピン人材の支援が中心ですが、日本でレベルの高い職業教育を受けた英語ができるフィリピン人材を、オーストラリア、ニュージーランド、欧州諸国が日本の倍以上の賃金で引き抜きに動いています。

一企業だけで賃上げは出来ませんが、彼らが日本で継続して就労したいと思う環境をどのように作っていくかを悩みながら、あと2～3年は頑張ろうと考えています。

・馬術部の課題（困りごと）

最後になりますが、馬術部での差し当たっての困りごとを述べます。

現在、馬糞の処理は、毎日、箱（30リットル位のコンテナ）に詰めて保管し、2週間毎に馬運車にコンテナを積んで瀬野川乗馬クラブに捨てさせてもらっています。この作業が学生にとっても馬運車を運転するコーチ陣にとっても、実に大きな負担となっています。

その解決策として、馬糞処理場（発酵させて堆肥化する場所）を作ってもらえるように、笠置総監督が大学側と交渉してくださり一部の費用を出してもらえる目途が立ちました。

ただし、馬術部の自助努力も求められており、馬糞堆肥処理場の建設資金、および堆肥化のためかき混ぜる重機（小型ホイールローダー）購入資金等100万円を超える資金が必要になる見込みです。

これから、詳細を詰めてまいります。OBOGの皆様にご協力をお願いすることになるかもしれません。その節はよろしくお願い申し上げます。

近況報告

中国四国地区学生馬術連盟 副会長 黒木 正信

皆様、ご健勝でお過ごしのことと存じあげます。

今年も夏、盆明けの最初の土日を活用して中四国学生（賞典）馬術競技会が開催されました。広島大学は賞典（上級クラス）競技で団体優勝して連覇を伸ばしました。会場は例年では岡山国体の施設が維持存続された蒜山ホースパークですが、本年度は11月の本大会の会場ともなる三木ホースランドパーク（兵庫県三木市）で初めて実施されました。中四国の地域外となりますが、馬運車や高速道路網の発展により、競技会の開催も最適な会場の選択が可能となりました。馬事公苑と双璧の国内トップレベルのJRA関連施設での

競技会でした。かつて広島大学が九州地区と合同で開催していた夏の西日本大会の競技会を思い浮かべると、隔世の感があります。昭和の頃の鹿児島・牧園大会では、“先発隊”とも呼ばれた各大学の下級生部員が集められ、幹事長の指揮のもとで山から切り出した木材を柱として仮馬房を組上げる過酷な作業があった事が思い出されます。各大学が配分された馬房にビニールシートを屋根代わりに張って、期間中馬を繋養しましたが、時に襲来する台風による暴風雨も部員の必死の奮闘で乗り切ったのです。競技の成績内容はもとより、夏の大会での「使役」作業など他競技では経験できない“サバイバル”という言葉がピッタリの体験があったことも馬術部員の貴重な財産になっているのではないのでしょうか。

中国地区での一般の馬術競技会ですが、学生大会と同様に、ローテーションによる各県主催の中国ブロック大会もほぼ毎年蒜山ホースパークを会場に開催されています。公式の大会では、馬場の広さや排水・砂の質、センサーによる100分の1秒の自動計時などが要求されます。中四国地域では各県内にそうした施設がなく、拠点として岡山の国体会場（蒜山ホースパーク）が活用されています。ひろしま国体の会場となった三和町施設は、国体後に旧施設へと復旧されました。施設（ハード）面が残されても、競技役員など人的な（ソフト）面の確保も必要で、国体後の施設存続には県馬連に多大な負担が伴っています。競技運営にはコースデザイナーや審判員およびスチュワードなどの有資格者の確保が課題となっています。地域の馬術振興のためには、学生馬術を経験した方々が、競技出場はさておき競技運営に尽力できる機会が増えていくことを願います。

現在馬術部は大学構内に広大な敷地を得て、馬匹を繋養してトレーニングをしています。広島大学は昭和55年度の工学部を皮切りに、平成6年の学校教育、法学・経済学部のを完了まで、約15年の年月をかけて広島市内から西条キャンパスへの移転を推進しました。馬術部も広島市安佐北区の可部にあった厩舎・馬場から、人馬と施設の暫時移動をへて、平成11年に現在の施設に移転を完了しました（詳しくは、『創部60周年記念誌』に沿革が述べられています）。太田川橋の下の馬場での練習は、平日は夕方、土日祝日は午後練習でしたが、現在は活動日は朝練習をしています。学生さんは厩舎作業と練習をした後、キャンパスを移動して講義に出席できます。広大な連覇記録もキャンパス内の活動開始後から始まっています。ここに至るまで馬場所在地をはじめ様々な変遷をとげた馬術部ですが、今後とも清祀会組織のご支援を賜り、引き続き指導体制のご尽力を頂き、さらに前進することを祈念いたします。

2023年夏大会

コーチ 松葉 弘将

清祀会会員の皆様におかれましては、日々ご健勝にお過ごしのことと存じます。

新型コロナウイルスも第5類に移行し、これまで制限されていた様々なイベント等も、少しずつですが、コロナ前の姿に戻りつつあります。そんな中、三木ホースランドパークで行われた、本年度の夏季中四国学生馬術大会では、秋に行われる全日本学生馬術大会へ

の出場権利を清姜号と清香号が獲得致しました。本年度は全日本学生も三木ホースランドパークで行われます。(来年度は東京の馬事公苑の予定です)夏の甲子園で優勝した慶應高校の大応援が話題になりましたが、馬術大会ですのであれほどの大声援という訳にはいかないでしょうが、ご都合のつかれる方は現地で奮闘する学生に一声かけて頂ければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

さて、私が担当する清詠号は、私の技術不足のため昨年の春大会から1年半、学生に障害競技でのゴールをきらせてあげる事ができない状態が続いておりました。今年に入り、木内監督にも協力して頂き、少しずつ調教が進んだ結果、一昨年の夏大会以来、2年振りに学生にゴールをきらせてあげる事ができました。時間がかかってしまいましたが、ここから再度調教を積み重ね、大学に貢献していける馬に育てていけるように取り組んでいきます。

また頑張ります

コーチ 平野 彩

部員の皆さん

13連覇おめでとうございます！なんとか勝てましたね。来年はもっと余裕で勝って、もっと高い目標に望めるよう、今あるものは何か？これからできることは何か？を考えながら、気を引き締めて取り組みましょう。

OBOGの皆さま

今年の夏はとても暑かったですが、お変わりないでしょうか？馬たちは例年以上にバテており、夏大会を無事に乗り切ってくれたことに安堵しています。

話は変わりますが、今年1月には、TOKYO2020総合馬術 個人4位の、あの、戸本一真さんに広島大学へお越しいただき、指導者・部員を対象に講習会を開催いたしました。実は数年前に岡山の講習会で知り合い、私の総合馬育成についてもメールでアドバイスをいただいております、広大での講習会も計画していたのですが、コロナの影響で先延ばしになっており、念願の開催でした。講習を通して、指導者であっても外部の方に見ていただいて、知識を増やしたり、騎乗やトレーニング方法を見直すことで目標に向けての課題がクリアになると感じました。いろいろやっていると、時間があっという間に過ぎてしまうのですが、引き続き、皆さまに託された想いとお金を無駄にしないよう頑張ります。

吐古納新

コーチ 岡田 佳那子

今年の夏は全国的に記録的な猛暑となり、馬も部員も指導陣も馬場にいるだけで汗が噴き出てくるようでしたが、皆様無事に過ごされましたでしょうか。世界的なパンデミックが徐々に落ち着き、馬術部にも日常がだいぶ戻ってまいりました。数年ぶりに新入生歓迎会や祝勝会等の催しも開催となりました。この勢いで、皆様と一堂にお会する事が叶えば

良いなと思う今日この頃です。大会前後ならびに期間中に激励にお越しいただいたOB、OG、並びに保護者の皆様、優しいお心遣いありがとうございます。おかげさまで本年度も優勝する事ができました。

今年度の夏季中四国大会は非常に新しい風を感じる大会でした。開催場所は全国大会を見越して、初めて三木ホースランドパークで開催となり、長年にわたり中四国学生馬術会をご支援頂いている岡山大学の岡崎会長が退任されて初めての夏大会でした。パンデミックの影響で縮小していた開会式、閉会式も全員で行うことができ、多くの学生が集っているのを見ると日常が戻ってくると共に新しいスタイルとの融合があるのかなと感じられました。

「古きを吐いて、新しい物を納める」、表題にあるようにパンデミックを受けて昔から慣習的に行っていたものが一度綺麗に吐き出され、日常を取り戻すと共に新しい物だったり、より洗練された物がその場に納まりはじめています。古い物が出ていくのはしきたりだけでなく、馬もまた然りです。長年担当させて頂いた、清熊号もついに余生を過ごすために広島大学を旅立つ事になりそうです。「老兵は死なず、ただ去りゆくのみ」とあるように、年老いた彼らがいなくなることはその全てが無に戻るのではなく、教えやたくさんの思い出等を残してその場から去りゆくだけなのでしょう。去った後には新しい物が納まり、また今までの事を受け継ぎながらも新しい何かを生み出してくれると思います。それが楽しみでもあり、少し寂しくもあるのは馬術部を卒部して長い年月がたったからと感じる次第です。

私事ですが、私も社会人として働きはじめて長くなり、複数のプロジェクトを任せていただけるようになって参りました。「古い方が良かった」と声高に言われぬように新しいプロジェクトをまとめる人間として精進していきたいと思います。

少しずつ変わりゆく馬術部にたいして、いろいろとご意見があるかもしれませんが、今後も変わらぬ温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

涼しさの罨！真夏の冷感スプレー！

コーチ 菊池 浩矢

清祀会員の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのことと思います。新型コロナウイルスの波も何とか収束の兆しを見せ、馬術部の活動もついに元の軌道に戻りつつあります。もちろん、これも皆さんの温かいご支援のおかげです。日々の感謝を忘れずに、頑張っています。

今年の夏の大会、場所は蒜山HPではなく三木HLPで開催されました。私は暑さを予感し、即座に薬局で冷感スプレーを手に入れました。中高生時代、弓道の練習中によく愛用していたアイテムで、簡単に涼しさを手に入れることができる一品です。ウキウキ気分です。三木に向かいました。初日、私が担当するナス（コーナスフロリダ号）は大暴れ！真夏の炎天下で飛び跳ね、大忙し。私も引けを取らずに戦い、手の皮を相当削りましたが、なん

とか生き残りました。しかし、本当の試練はこれからでした。1時間以上の戦いの後、私は体力を使い果たし、熱中症寸前でした。そこで私は「冷感スプレー、今だ！」と叫び、首から背中、胸まで全身にたっぷりとスプレーをかけました。瞬間、「涼しい！生き返る！」と思ったのも束の間、次の瞬間には「涼しすぎる。寒い！痛い！」と感じ、風の速さでスプレーの説明書を読み返しました。「直接肌にはスプレーしないでください」と。それから数時間、私は真夏にしては異常なほどの冷気に震える、まさに異次元な体験をしました。皆さんも冷感スプレーを使用する際は”使用する前に”使用方法をお確かめください笑

新しい醍醐味

准コーチ 荒川 竜芳

広島大学馬術部のOB・OGおよび関係者の皆様、今年度から准コーチとして携わらせていただいております荒川です。この場をお借りしてご挨拶いたします。

さて、今年の夏大会も終わり、無事に13連覇ができたことを嬉しく思います。応援してくださった皆様、頑張ってくれた選手・馬匹に感謝いたします。

今大会は、私が指導者側に立って臨んだ初めての夏大会でした。これまでの大会とは違い、演技が、走行が始まれば出場人馬を信じることしかできず、現役の時とはまた違ったヒヤヒヤ、ドキドキを味わいました。その分、結果を出してくれた時の興奮もまたひと味違うものでした。

全日学への権利を獲得した2人馬、特に4年生の茜と清姜号のペアは長いこと見てきましたが、この数カ月で見違えるほど頼もしくなりました。彼が軽速歩もままならない1年生のころから見てきているので、一段と頼もしく見えます。全日学に向けてがむしゃらに練習するこの時期が、一層成長し、一番楽しい時間だと思います。全日学でもドキドキと興奮を届けてくれることを楽しみにしています。



全日学総合完走を祝し、清祀会関東支部より記念品の贈呈を受けた荒川准コーチ

【特集①】 春季大会及び夏季大会成績の変遷

監督 木内 啓司

多くの皆様方のお力添えのもと、馬術部が残してきた成績をまとめた資料です。

挨拶にも述べましたとおり、創部 70 周年に向けてさらなる高みを目指してまいります。

西暦	邦暦	月	○…総合優勝 総合優勝	最優秀選手	最優秀馬	部長・監督など
1969	S44	夏	西日本○			初代田部監督
1973	48	夏	西日本○			
1974	49	夏	西日本○			
1976	51	夏	西日本○			
1989	S64	1				2代笠置監督
1998	H10	4				馬場完成
1999	11	4				厩舎完成
2000	12	春				
		夏	中四国○	田中 智久	ユニフォーム	
2001	13	春				
		夏	○		ユニフォーム	
2002	14	春				
		夏	○	隠居 宗行	ユニフォーム	
2003	15	春				
		夏	広島工業大学			
2004	16	4				7代小樫剛人部長
		春				
		夏	○		清華	
2005	17	春				
		夏	○	井出 基文	清華	
2006	18	9				3代木内監督就任
		春				笠置総監督就任
		夏	○			
2007	19	春				
		夏	馬インフルにより中止			
2008	20	9				2代笠置会長
		春	○	井上 豪	清麗	
		夏	○	嶽 満寿美(旧姓河南)		
2009	21	春	○			
		4				三笠コーチ就任
		夏	岡山大			
2010	22	春	○			
		夏	○	平野 彩(旧姓岩本)		
2011	23	春	○	帖佐 幸樹	清麗	
		夏	○		清麗・清虎	
2012	24	春	○			
		夏	○			
2013	25	春	○			
		夏	○	竹葉 千恵	清麗	
2014	26	春	○			
		夏	○	松永 昶堯	清麗	松葉顧問就任
2015	27	春	○		清虎	
		夏	○	松永 昶堯	清麗	岡田・帖佐コーチ就任
2016	28	春	○	佐々木 やまと	清姜	
		夏	○	佐々木 やまと	清虎	
2017	29	春	○		清虎	
		6				三笠副監督就任
		夏	○			岩本コーチ就任
2018	30	春	○	岩田 浩紀	清姜	
		夏	○	岩田 浩紀		帖佐コーチ離任

2019	R1	春学典	○	栗原 直人	清盛	
		春一般	○	才迫 明日香	清風	
		3				三笠副監督離任
		夏学典	○	岩田 浩紀	清将	松葉コーチ就任
		夏一般	2位(優勝は松山大学)			
2020	R2	春	新型コロナウイルスにより中止			新谷顧問離任
		夏	新型コロナウイルスにより中止 ～権利獲得テスト走行のみ実施～			
		11				菊池准コーチ就任
2021	R3	春	○	西野 宗一郎		
		夏学典	○	工藤 零也	清姜	清姜が初の3種目制覇!
		夏一般	○		清風	学典・一般部門完全優勝!
2022	R4	春	○	荒川 竜芳	清姜	2位広島工大、3位岡大
		夏学典	○	荒川 竜芳	清姜	
		夏一般	2位(優勝は鳥取大学)			選手2位宮崎、馬匹2位清盛
2023	R5	春	○		清香	菊池コーチ昇格、荒川准コーチ就任
		夏学典	○	茜 知樹	清姜	選手4位猪熊、馬匹4位清香
		夏一般	2位(優勝は鳥取大学)			選手2位井上、馬匹5位清盛

【特集②】総合馬育成の道Ⅱ～その後～

コーチ 平野 彩

昨年の部誌で、荒川くんと清香の全日本学生総合馬術競技に向けて「力を出し切れれば、全日本でも十分通用する人馬に仕上がっていますので、応援よろしくお願いいたします。」と、お伝えしました。そして、部誌の原稿の入稿後に参加したトライアル競技でも手応えがあったので、目標設定を「完走」から「ベスト20」に変更しました。2021年の大会結果から「馬場は60%以上、クロスカントリーはタイム減点のみ＝拒止、逃避はNG、障害は2落以内」この条件をクリアすれば、ベスト20に十分、入れるだろうと想定でき、これは荒川くんと清香にとっては難しくない（簡単でもない）条件でした。本番までの1か月間は、この目標に向けて足りないところを補うよう緻密にトレーニングを組み立て、こなす作業が楽しかったです。

結果は「61.9%、タイム減点4、4落＝総減点58.1」で23位でした。目標が「完走」なら、大喜びの結果だったと思いますが「ベスト20」にわずかに届かず、悔しい結果となりました。でも、目標が「完走」のままだったら、得られなかった結果だと思います。ちなみに、障害で4落してしまったのは、馬の疲れや実力不足ではなく、私にとっても想定外の荒川くんのミスだったのですが、障害競技直前に荒川くんに「ここまで（馬場とクロスカントリーで）目標をクリアしてきたから、（障害は）4落までなら笑顔で迎えるよ!」と約束したので、ゴール後、内心は「なにやってんだよ（怒）」でしたが、笑顔で迎えました。やはり人は設定した（された）目標に引っ張られてしまうんですね。

2019年に菊池くんと完走した清風は、ここ数年は予選での失権が続いており、なかなか良い報告ができないのですが、今シーズンは、結果を出せないながらも解決策が見えてきたので、来年こそは!という気持ちです。ちなみに、ここ数年の予選以外の三木でのトレーニングやトライアル競技では、清香と同じメニューをこなし、清香より安定しています。また、昨年からトレーニングを開始した清天はまだ4歳ですが、良いところがたくさんあります。どちらかというと大器晩成タイプだとは思いますが、6歳には予選でデビューして、清風や清香と同じく7、8歳で全日本学生総合馬術完走となるよう大事に育てていきます。

※「総合馬育成の道」という決め?のタイトル、なぜ付けたのかなと4年目?にして疑問に感じ、掘り下げてみたところ... 小さい頃にハマっていた「星のカービィ スーパーデラックス」の「格闘王への道」に影響されているのだと気づきました。

【特集③】馬糞発酵処理施設の設置に向けて

監督 木内 啓司

・馬場散水装置の設置

今夏は大学当局に馬場散水装置（放水口4カ所）を設置していただきました。

お陰さまで、大変な猛暑の中でしたが、人馬とも大きな事故もなく、夏を乗り越えることができました。ありがたかったです。

・馬糞発酵処理施設の設置（大学当局に要請中）

現在、馬術部では馬たちから排出される馬糞をボロ箱に詰め込み、2週間に一度、馬運車にボロ箱を積み込んで、近隣の瀬野川乗馬クラブへ運び、処理をお願いしています。

その昔、太田川河川敷で活動していたころは、厩舎トラックにボロを積んで近隣の田んぼに運び込んでいましたね。西条厩舎では写真のようなボロ箱を利用してボロを溜め、糞尿が流れることの無いよう地域への配慮を怠らないようにしています。

しかしながら、2週間に一度、ボロ箱140個を馬運車に積み込み降ろす作業は部員にとって大きな負担になっており、また馬運車を運転する指導者や、乗用車を運転する部員の安全面を考えても無理が生じているのが現実です。



R5.8 瀬野川乗馬クラブでのボロ処理の様子

そこで、大学当局に部敷地内に馬糞発酵処理施設を整備していただくよう、数年前からお願いしてきました。笠置総監督の粘り強い交渉のおかげで話が具体化しつつあり、上手くいけば今年中に、施設が完成する方向で物事が進み始めたところです。

大学の予算には制限があるため、一部の資材を支援者からご寄付いただいたり、我々でできる作業は我々・部員で総力を結集して取り組むことになりそうです。

また、発酵を促すために攪拌する必要があるため、その作業に重機が必要になるなど、何だかんだとお金もかかりそうです。

しかしながら、今後、順調に施設整備が進めば、部員たちの作業は飛躍的に軽減されるはず。指導者としても、物事が上手く進むよう、大学当局への働きかけにも最大限注力してまいりたいと思います！

また、今後の様子をご報告しますので、施設整備の状況を楽しみにしてください！

【会員の皆様より】

2023 復活（続く）

清祀会関東支部長 上原昇二

夏季中四国大会13連覇を達成されたとのこと、驚くべき記録ですね。
新型コロナが5類扱いになり長いトンネルの出口が少し見えてきましたが、異常な猛暑の中で人馬ともに本当にお疲れ様でした。

昨年は『2022 復活の年』と題して、車の両輪【仕事】と【乗馬】の復活を誓いました。

結果は未だ道半ばです。昨年12月から『鉄道用測定器のオーバーホール』（シルバー人材の派遣仕事）に就くことができました。測定器を作業台に載せて清掃、分解、部品交換する仕事です。

今年の春頃には仕事に慣れてきましたが、何故か足元がふらついたり声が枯れるなどの症状が出始めました。週3日の仕事なので何とか頑張っていましたが、倦怠感と喉の違和感に襲われて遂に休暇をいただき病院に行きました。まずはコロナの検査をして陰性でホッとして、呼気の検査（NO濃度）をしたところ『喘息』との診断でした。

そのまま7月に仕事は辞めさせていただき現在に至ります。そろそろ馬に跨るかと思っていましたのでショックは大きかったのですが、治療に専念している最中の投稿になりました。

半年とは言え【仕事】の復活ができたのは収穫でした。ウォーキングで体調を整えて【乗馬】の復活ができればと願うこの頃ですが、腰痛や膝痛が復活しておりますので焦りは禁物です。



我が家の愛犬 はなび
ウォーキングの友です



2023年 復活は続く！

駢歩運動を考える ―なぜ“肩を内へ”はしないのか？

昭和46年卒部 藤本 恭史

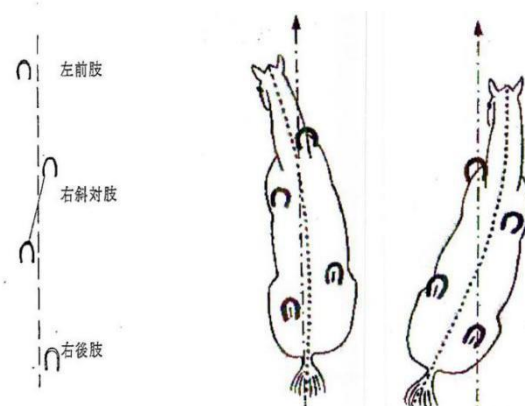
常歩と速歩では《肩を内へ》や《腰を内へ》等の2蹄跡は左右どちらでも日常普通に実施するが、駢歩の《肩を内へ》に限っては普通やらない。
これはなぜだろう。

ここでは常歩(4節)と速歩(2節)の偶数節と駢歩(3節)の奇数節の特徴を説明することによって解答を導く。この問題は国内外のどんな教科書にも参考になる資料が乗っていない。皆さんのご批判とご指導を歓迎します。
皆さんと知恵を合わせてより良い仮説を導き出せることを期待したい。

左側の絵は我々が習う左駢歩の運歩図です。馬体の中心線に沿って完全に真直です。

ところが右の2つの絵は若い馬が放牧場などで見せる自由駢歩の様子だと言う(Saumur Maloine)。

この絵は自然界の駢歩において馬はまっすぐには走っていないことを表している。



真直な馬(左駢歩)

右駢歩

左駢歩

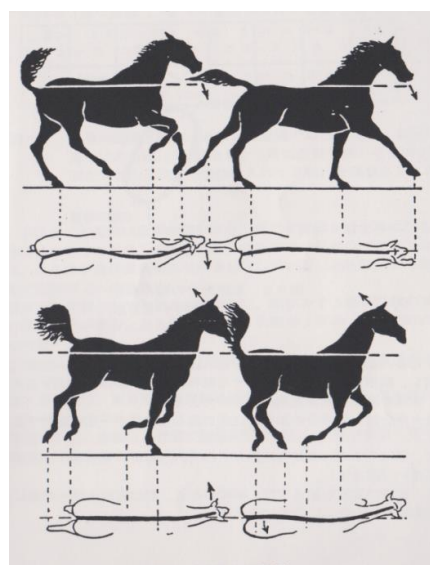
我々は調教でこの偏りを矯正し左の絵のような真直ぐな運動ができるように日々訓練していることになる。

常歩、速歩には左右の手前でこのような偏りはない。なぜかと言うと常歩と速歩の運歩が4節、2節と偶数歩で1完歩が納まっているからだ。どちらの手前であつても前肢同士、後肢同士は左右対称の1, 2のリズムで動くので手前の違いで運動に偏りが出る特徴はない。

しかし駢歩は3節と1完歩が奇数歩であることが問題なのだ。

右のスケッチは右駢歩の分解図だ。

脊椎のスウィングは同手前駢歩の中で常歩(4節)速歩(2節)の偶数節と違って非対称で右手前でありながら頭は左方に振る特徴を持っている(左手前はこの反対)。



右駢歩では頭頸は常に左寄りとなる

この偏りは駈歩が常歩、速歩にはない左右が非対称な3節という肢の運び方をする特性に因る。常歩と速歩では偶数歩で1完歩が終わるので、運動による体軀の歪み（別稿：速歩運動を考える参照）は1完歩が終わる時点で完全にリセットされる。

この左側に屈曲する傾向のある右手前で駈歩している馬を右方向へ大きく《折り曲げる》のは自然な馬の動作としての合理性がない。

これが駈歩において肩を内へを求めるには無理がある理由である。

馬術の世界ではこの左右非対称的な動きを矯正して対称的な運動に近付ける作業と言えるかもしれない。

一方後軀の動きはほぼ左右均等に動くところから《腰を内へ》は困難はなく実施可能となる。

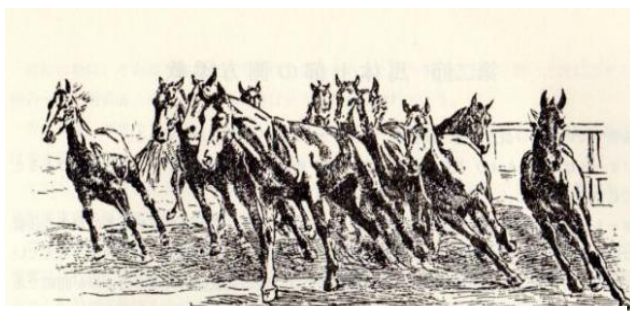
ただし駈歩の2蹄跡運動は正手前側に限る。反対手前においては、反対駈歩という常歩速歩の偶数節にはない特別な運動をすることで同一の効果が期待できる。

以上駈歩運動は左右非対称の奇数歩の運歩であることが肩を内へをさせづらいもとの理由である。

なぜ左右両方とも左側に偏っているかは母の胎内にいるとき、左側に丸まっているとの説があるが定かではない（その理由で馬は左利きだと言われている）。

我々は日常のトレーニングでこの偏りをなくせば、馬は真直姿勢に近づき、従って《肩を内へ》を要求しても格別問題はなくなる。

しかし駈歩運動はもともと手前側に馬体が湾曲しやすいので（3節の奇数歩で運動することが原因）その傾向を助長する肩を内への運動はさほどの利点は認められない。



3節は常歩、速歩の偶数節に比べ不安定な走り方をする。競走中に時々落馬事故を見かけるが、プロ騎手であっても馬が突然斜行するとモンキー騎座では簡単に落馬する。常歩、速歩で斜行することはない。

清熊号退厩のお知らせ

この度、広島大学馬術部を10年間に渡って支えてきた清熊号が広島大学馬術部から退厩し、瀬野川乗馬クラブへと移動することとなりました。
そんな清熊号に向けて、部員や担当の岡田コーチからメッセージを頂きました。

今まで本当にありがとう。
ステラのおかげでたくさんのことが出来るようになりました。最後の夏大会、ステラと出れて良かったです！また会いに行くから元気だね。

(4年 清水)

あ
り
が
う
ス
テ
ラ

長い間、私も含めてたくさんの学生に多くのことを教えてくれてありがとう。走り出したらとまらない、滅多に跛行しないスーパー元気だったステラがすっかり年をとってしまったね。新しい場所でゆっくり楽しくいろんな人に可愛がってもらってね。瀬野川乗馬クラブさんどうぞよろしくお願ひします。

(岡田コーチ)

今までありがとう。ステラに乗った時に軽速歩のコツを掴んだのを覚えています。これから元気でいてね。

(4年 内田)

癒し担当、最高齢たる貫禄。ステラなくして広大なし。新しい場所でも食べてるごはんを見せてあげてね。今までありがとう。

(4年 宮崎)

1年生の時からたくさんお世話になりました。ありがとう。新しいところでもごはんをしっかり食べて、運動して健康に過ごしてね！

(4年 廣瀬)

ステピへ
去年唯一選手権前に乗せてもらえておかげで北海道にいけました。今までありがとう！

(4年 茜)

君にはたくさんのことを教えてもらいました。2年生の夏大会のとき、初めて君と気持ちが通じていると感じた瞬間は忘れられないよ。お別れは寂しいけどステじい、いつまでも健康でいてね。

(3年 白井)

いつもご飯を目の前の柵の上にボロボロ落とすところ眺めるのが好きやったで。また会いに行くから達者でな。

(3年 北蘭)

1年生から上級生までみんなと活躍していたステラはいつでもかわいくてかっこよくて、とても頼もしかったです。また会いに行くからずっと元気でいてね～！

(3年 竹田)

今までありがとう。これからもう一度5A踏めるように頑張っ
てね。FEIグランプリまで目指し
てください。 **(3年 大村)**

フランスからわざわざ来て
くれてありがとう。10年間、
お疲れ様。 **(3年 猪熊)**

私はあんまりステラに乗ることは
無かったけどステラが清水先輩に可愛がられている姿を見る
のが好きだったよ、これからも
元気でね！ **(2年 藤田)**

ステラのおかげで上達でき
ました。本当に今まであり
がとう！ **(2年 山崎)**

老体にもかかわらず、クロ
スを飛んでもらったこと、
まだ鮮明に覚えています。
これからも元気で！
(2年 井上)

常歩から駆歩まで、暑い
時から寒い時まで乗せて
もらって、上達したと思
います。ありがとう。
(2年 下村)

落ち込んでいた時、頭をペ
ロペロしてくれたのが嬉し
かったです。優しいステラ
がずーっと大好きだよ。
(1年 高田)

ステラは初めて乗った馬で
軽速歩を教えてくれた先生
です。ステラに教わったこ
とをこれからも生かしてい
きます。 **(1年 本橋)**

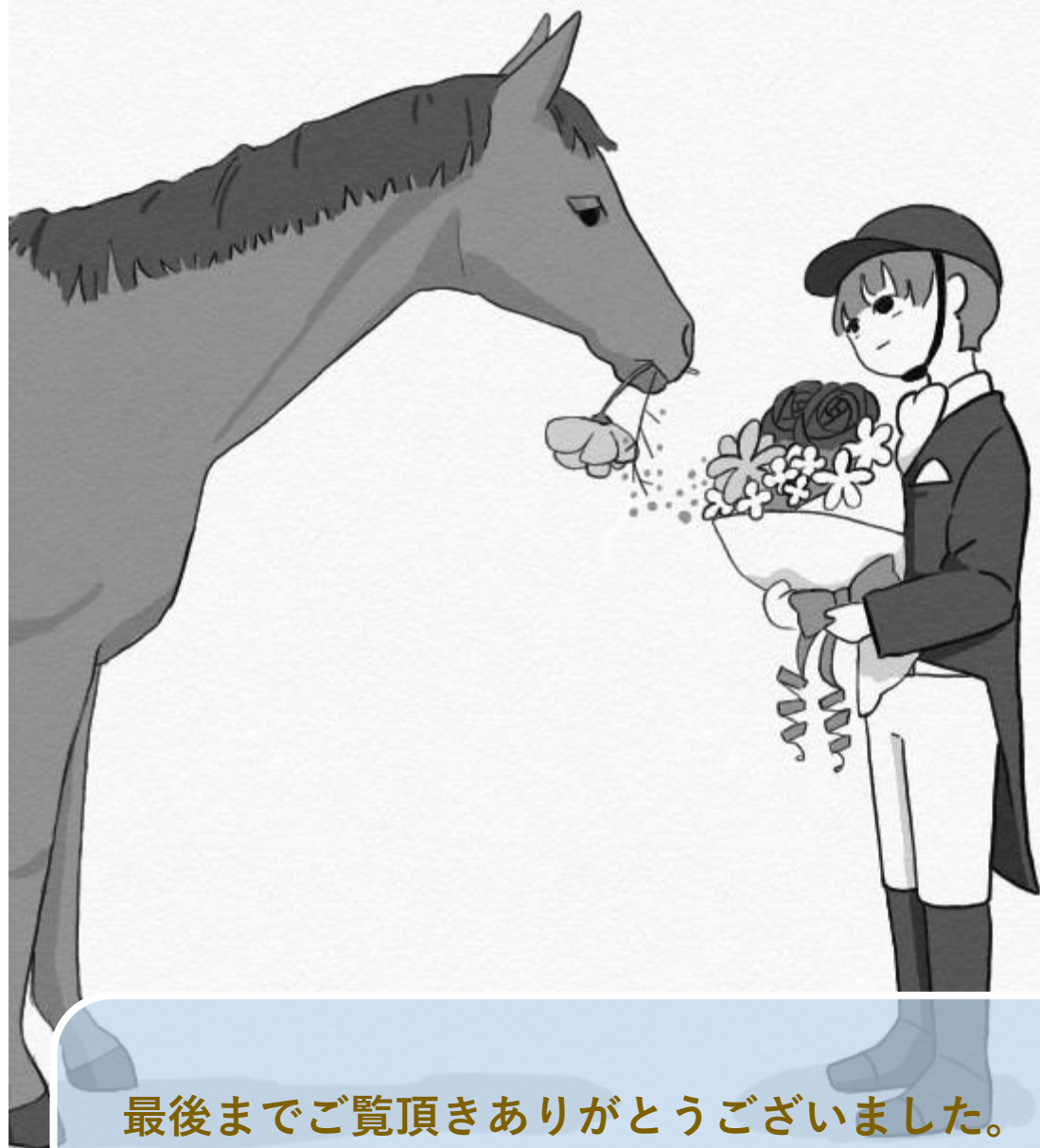
ステラはいつも賢くて、私が
まだ発進できない時から手
伝ってくれました。穏やかで
賢いステラのおかげで上達し
たこと、これからも絶対忘れ
ないです。 **(1年 山根)**

ステラには、入部してから今ま
で、本当にお世話になりました。
夏大会、最後にステラに乗れて
よかったです。たくさん、たく
さんありがとう。大好きだよ。
(1年 石原)

今までありがとう。選考会から夏大
会までステラにはたくさんの迷惑を
かけたけど、ステラのおかげで上達
したことを本当に感謝しています。I
love ステラ！これからも頑張っ
て！
(1年 林)

初めて乗った馬がステラでした。
常歩や軽速歩の練習付き合っ
てくれてありがとう。ゆっくり休
んでください。 **(1年 廣瀬)**

YOU ARE MY SUNSHINE



最後までご覧頂きありがとうございました。
皆様の益々のご多幸をお祈り申し上げます。
広島大学体育会馬術部一同

画：高田由芽

